



乗降客5000人未満の駅でも
バリアフリー新法で

エレベーターの設置が可能



こうじちは

岸本のり子です

07年12月16日 日曜
発行 日本共産党
大津湖西地区委員会
岸本のり子
連絡先 大津市和邇春日2丁目
TEL594/6091

27

日本共産党

湖西線の階段は平均55段
大津市の庁舎4階まで
歩いて上るには大変だー！

自分一人でも階段を上るのがやっとならうお年寄りが、足の悪い夫を支えて、病院のため55段の階段を上るのはきついな。柵も、小野や和邇駅だけでなく他の駅にもエレベーターはほしいな。……
蓬萊駅以北のお年寄りが、わざわざエレベーターのある和邇駅までタクシーに乗ってまでエレベーターを利用している……こんな切実な声が岸本市議に寄せられてきました。

あった！バリアフリー新法！！

岸本市議や日本共産党市議団が何とか適合する法律はないものか調べたところ、国は高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律「バリアフリー新法」を昨年12月20日に施行していることがわかりました。新法では

人口平均利用者5000人未満の鉄道駅および軌道停留場についても地域の実情にかんがみ、利用者数のみならず、高齢者・障害者等の利用の実態等をふまえて移動等円滑化を可能な限の実施が可能となります。

なお、今年10月1日から施行された地域交通の活性化および再生に関する法律に対する付帯決議として政府も、駅道駅におけるバリアフリー化の重要性にかんがみ、地方の乗降客数にかかわらず、バリアフリー化を推進するための具体的な措置を講ずることを努めることになりました。

新法を生かして
蓬萊駅以北のバリアフリー化を

12月11日に行われた大津市議会・一般質問で、岸本市議は大津市が新法を生かして早期に実現のため努力することを求めました。

建設部長は

「現状では国の支援が決まっていらない。民間に単独支援はきいていない。」

しかしながら、必要性は充分認識し、国県に強く要望する」と答弁。

今、志賀バイパス・比良インターに続いて、南小松に近江舞子ロインターの計画が進んでいます。

国道161号線と接続する「都市計画道路」に

大津市は10億円をかけようとしています。

このことの是非は地域のみなさんと充分話し合っていく必要があります。

しかし、交通手段が唯一JRだけの志賀北部の住民にとって、巡回するバスもない現状では、まず高齢者・障害者のみなさんが利用しやすい駅にすることを優先すべきではないでしょうか。

合併特例債をつかって庁舎建設するより高齢

志賀域65歳以上の人口比

大津市	18.54%
小松	23.66
木戸	21.70
和邇	18.24
小野	25.07

平成18年度の決算によれば、JR雄琴・小野駅へのエレベーター新設工事の負担金は県・市合わせて1億3千6百万円（現バリアフリー法では県・市で総工費の3分の1を負担することになっています）。